

2020年12月28日

研究データ利活用協議会小委員会（研究データライセンス）報告書
研究データ利活用協議会（RDUF）
研究データライセンス小委員会

【活動期間】2019年7月～2020年12月

【初期委員】以下5名

- 南山 泰之（大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立情報学研究所 オープンサイエンス基盤研究センター）
- 池内 有為（文教大学 文学部英米語英米文学科）
- 上島 邦彦（株式会社日本データ取引所 事業企画部）
- 岡山 将也（株式会社日立コンサルティング）
- 山田 一作（公益財団法人野口研究所）

【運営区分】3 ステークホルダーを集めて、課題解決に向けて対策等を話し合う。

I. 活動の目的

本小委員会では、「研究データのライセンス検討プロジェクト」小委員会（2017年10月～2019年3月）で作成したガイドライン草案につき、バージョンアップに向けた論点出しを兼ねた、各分野（学術、産業、官庁等）に対する普及活動を行う。また、取りまとめた活動成果については、RDA/CODATA Legal Interoperability IG へのフィードバックを行うことで、国際貢献も視野に入れる。

II. 活動の概要

上述の目的を達成するため、小委員会では以下の活動を行った。

- (1) ガイドライン草案の再レビュー、改訂及び用語集の作成（～2019年12月）
- (2) 「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」の公開（2020年2月）
- (3) ガイドラインの普及活動（2020年2月～2020年12月）
- (4) 活動から得られた知見のまとめ（～2020年12月）
- (5) 部会設置に向けた提案・設立準備（2020年7月～2020年12月）

活動の詳細は別添資料の通り。

III. 主な成果・外部発表

1. 成果物

- 1) ガイドライン「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン ver.1.0」
https://doi.org/10.11502/rduf_license_guideline
- 2) 解説記事「E2250 - 研究データの公開・利用条件指定ガイドラインの策定」
<https://current.ndl.go.jp/e2250>
- 3) 研究論文 “Investigation and Development of the Workflow to Clarify Conditions of Use for Research Data Publishing in Japan”
<https://doi.org/10.5334/dsj-2020-053>

2. 外部発表一覧

No	発表タイトル	発表年月	発表先	発表者	発表種別
1	研究データのライセンス表示ガイドライン	2019/7/4	INFOPRO2019	池内有為	ポスター
2	研究データのライセンス：ガイドラインによる「ずれ」の軽減	2019/8/19	第13回オープンチームサイエンスウェビナー	池内有為	口頭（オンライン）
3	Research data licensing project : Activities in RDUF subcommittee	2019/10/10	RDA x RDUF meeting	南山泰之	口頭（オンライン）
4	研究データの流通促進に向けた国内の取り組み	2020/2/7	データ流通推進協議会 技術基準検討委員会	南山泰之	口頭
5	研究データライセンス小委員会活動報告	2020/3/23	[2019年度]RDUF公開シンポジウム	南山泰之	口頭（オンライン）
6	研究データの利用条件に関する調査検討報告	2020/6/8	研究データ基盤整備と国際展開WG	南山泰之	口頭（オンライン）
7	研究データの公開・利用条件指定ガイドラインの策定	2020/7/2	INFOPRO2020 Plus	熊崎由衣	口頭（オンライン）
8	「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」と制限公開	2020/10/2	第1回SPARC Japanセミナー	池内有為	口頭（オンライン）
9	研究データライセンス小委員会活動報告	2020/12/2	2020年度RDUF公開シンポジウム	南山泰之	口頭（オンライン）

計 9 件

3. セッションの企画・運営

No	セッション名	発表年月	会議名
1	研究データのライセンス表示ガイドラインの実践に向けて	2019/5/27	Japan Open Science Summit 2019
2	データの品質と提供者、利用者の責任を考える	2020/12/2	2020年度RDUF公開シンポジウム Breakoutセッション

計 2 件（注：小委員会の正式発足前 1 件を含む）

IV. まとめ

前身となる「研究データのライセンス検討プロジェクト」小委員会の活動を引き継ぎ、本小委員会ではガイドライン草案の改訂作業に取り組み、「研究データの公開・利用条件指定ガイドライン」を2020年2月に公開した。併せて、ガイドラインの解説記事を国立国会図書館のメールマガジン「カレントアウェアネス-E」に投稿し、2020年4月に掲載された。さらに、小委員会内外での議論をもとに得られた知見を論文としてまとめた。論文は2020年11月に受理され、同12月に公開されている。

また、ガイドライン改訂と平行して、各分野(学術、産業、官庁等)に対する普及活動も積極的に行い、外部発表9件、本小委員会によるセッションの企画・運営2件(正式発足前のものを含む)を実施した。

総括として、当初の活動目的は全て達成することができた。さらに、小委員会での議論から得られた新たな課題に対応するため、企画委員会に対して部会制度創設の提案を行い、2020年12月に承認された。今後、本制度に基づき後継の部会を提案する予定である。

V. 添付資料

資料1：研究データライセンス小委員会_活動詳細.pdf

以上